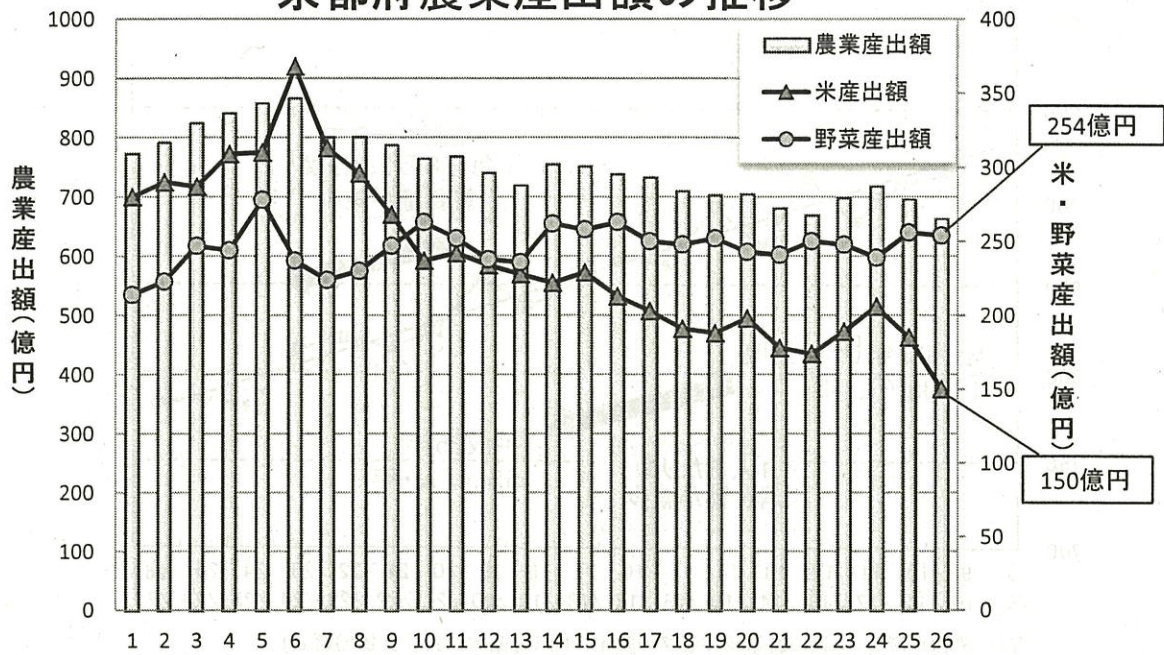
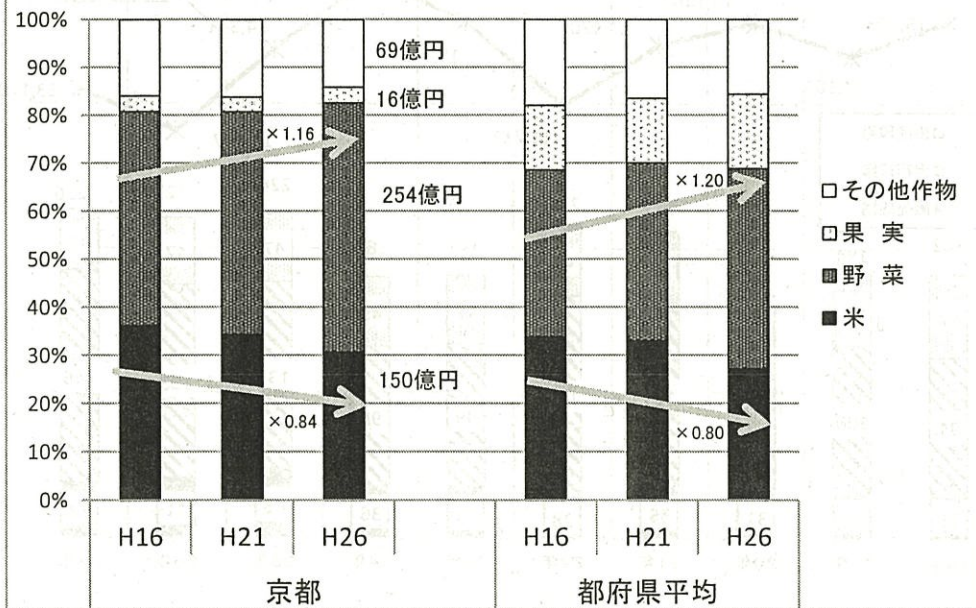


※農業センサスから算出

京都府農業産出額の推移



主要品目が農業産出額に占める割合(耕種部門)

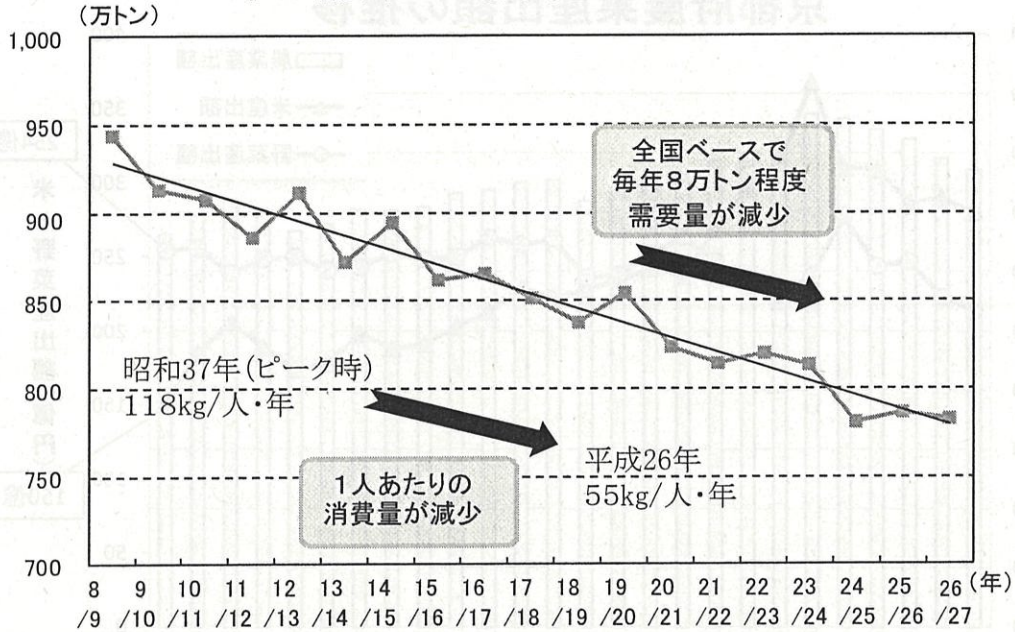


※H26生産農業所得統計(農林水産省)より

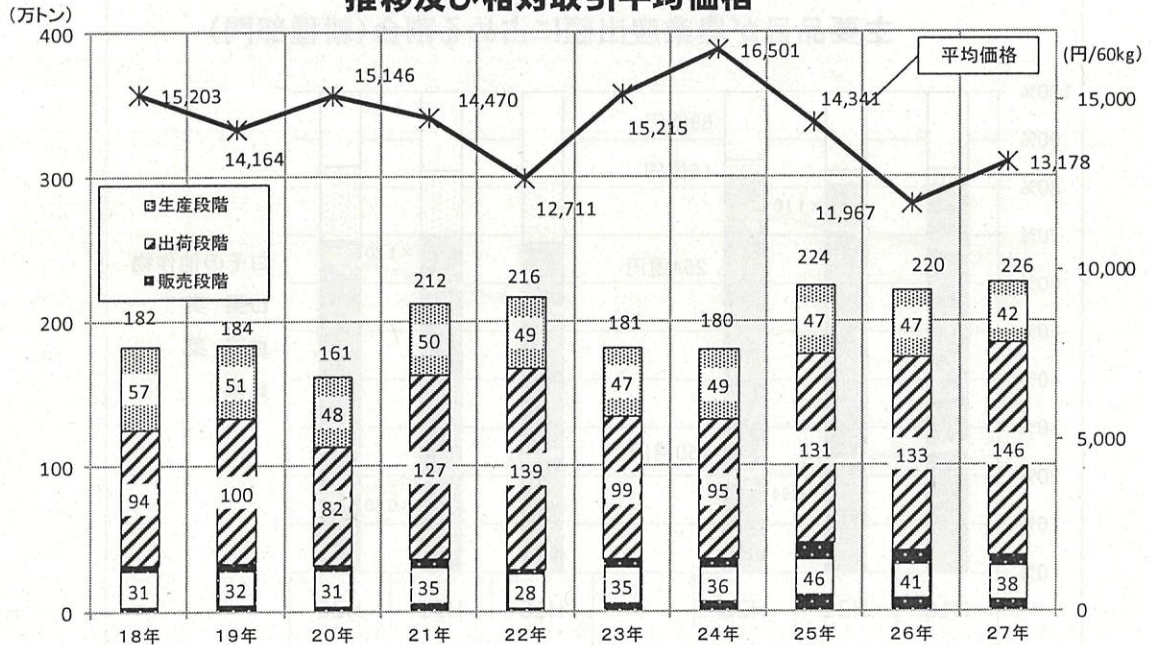
野菜の構成比(H26):京都51.9%、都府県平均41.7%

野菜の構成比の伸びは都府県平均よりやや緩やかだが、重要な品目となっている
米の構成比の低下は都府県平均よりやや緩やかで、他地域よりも重視されている

米の需要量・消費量の推移



主食用米等の民間流通における6月末在庫の推移及び相対取引平均価格



※農林水産省「米に関するマンスリーレポート」(平成28年5月公表)より農産課作成

■相対取引平均価格(注)

- 1 価格には、運賃、包装代、消費税相当額(8%。ただし、25年産の26年3月分以前は5%)が含まれている。
- 2 平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月までの通年平均。27年産のみ平成28年3月までの平均値。

■民間流通における6月末在庫の推移(注)

- 1 うるち玄米及びもち玄米の値である。
- 2 各年の民間在庫量は年間玄米取扱数量500トン以上の業者(販売・出荷段階)の数量である。
なお、生産段階の在庫量は、「生産者の米穀現在高等調査」(平成22年以降は「生産者の米穀在庫
- 3 平成26年の出荷段階の在庫量は、米穀機構の買入数量35万トンを含んでいない。
- 4 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

米の収入に占める「経営所得安定対策等交付金」の割合

単位：円/10a

| | | 販売収入 | 経営所得安定 対策等交付金 | 収入合計 A | 収入に占める 交付金の割合 | 生産費 B | 差引(A-B) |
|--------|------------|--------|------------------|---------|------------------|--------|---------|
| 京都府 | コシヒカリ(一般) | 92,950 | 7,500 | 100,450 | 7.5% | 99,964 | 486 |
| | 京の輝き(加工用米) | 56,950 | 52,200 | 109,150 | 47.8% | 99,964 | 9,186 |
| (参考)全国 | 主食用米 | 92,950 | 7,500 | 100,450 | 7.5% | 85,724 | 14,726 |

※販売収入は、農産課推定値(全国の主食用米は京都府コシヒカリと同額で仮置き)。

※交付金のうち、米の直接支払交付金は、実際は主食用米の作付面積から自家消費相当分として一律10a控除して算定されるが、ここでは10a控除はしていない

※生産費は農林水産省統計(平成26年産)の全算入生産費から家族労働費、自己資本利子、自作地地代を控除したもの。

京都府水稲品種別作付面積 (平成27年産)

| 品種名 | 作付割合 | 主な作付地域 | | | | |
|-------|-------|--------|----|----|----|----|
| | | 京都乙訓 | 山城 | 南丹 | 中丹 | 丹後 |
| コシヒカリ | 52.6% | | | | ○ | ○ |
| キヌヒカリ | 22.2% | | | ○ | | |
| ヒノヒカリ | 14.9% | ○ | ○ | | | |
| 京の輝き | 2.3% | | | | | ○ |
| 新羽二重糯 | 1.8% | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 祭り晴 | 1.7% | ○ | | ○ | | |
| どんとこい | 0.9% | | | | | ○ |
| 祝 | 0.8% | | | | | ○ |
| 五百万石 | 0.7% | | | | ○ | |
| 日本晴 | 0.5% | ○ | | ○ | | |

※京都府農産課調べ(種子配布実績と府内主食用米水稲作付面積からの換算値、「京の輝き、祝、五百万石」は調査値)

新興ブランド米の相対取引価格 (平成28年2月)

| 県名 | 品種名 | 価格(円/60kg) (平成27年産米) |
|------|-------|-------------------------|
| 北海道 | ゆめぴりか | 17,118 |
| 山形 | つや姫 | 18,159 |
| 福岡 | 元気つくし | 15,265 |
| 佐賀 | さがびより | 14,206 |
| 鹿児島 | あきほなみ | 14,732 |
| (京都) | コシヒカリ | 14,088 |

資料：農林水産省「コメに関するマンスリーレポート」

水稻奨励品種決定調査について

平成 27 年 11 月 26 日

農林センター作物部

近年の温暖化傾向により、水稻の品質低下が問題となっていますが、温暖化条件下でも品質低下しにくい、新たな品種が育成されています。そうした品種の内、農林センターでは「つや姫」、「きぬむすめ」、「にこまる」を有望視して検討しています。

□供試品種の特徴

「つや姫」

- ・山形県育成。平成 21 年に山形県が奨励品種に採用。以降、宮城県、大分県、島根県、長崎県で奨励品種に採用。
- ・早生品種、収穫時期はコシヒカリと同程度。コシヒカリに比べ稈長が短く、外観品質良く、良食味。

「きぬむすめ」

- ・九州沖縄農業研究センター育成。大阪、和歌山、鳥取、島根、静岡、兵庫、山口の 7 府県で奨励品種に採用。
- ・中生品種、収穫時期はキヌヒカリに比べ 20 日遅い。キヌヒカリに比べ多収。外観品質良。良食味。

「にこまる」

- ・九州沖縄農業研究センター育成。長崎、大分、静岡の 3 県で奨励品種に採用。石川、栃木、滋賀、京都、岡山、広島など 15 府県で産地品種銘柄。
- ・晩生品種、収穫時期は ヒノヒカリより 3 日遅い。ヒノヒカリに比べ多収。外観品質良。良食味。

「西南 136 号」

- ・鹿児島県農業開発総合センター育成。
- ・早生品種、収穫時期はコシヒカリより 15 日遅い。コシヒカリに比べ短稈で耐倒伏性にすぐれ、多収。良食味。

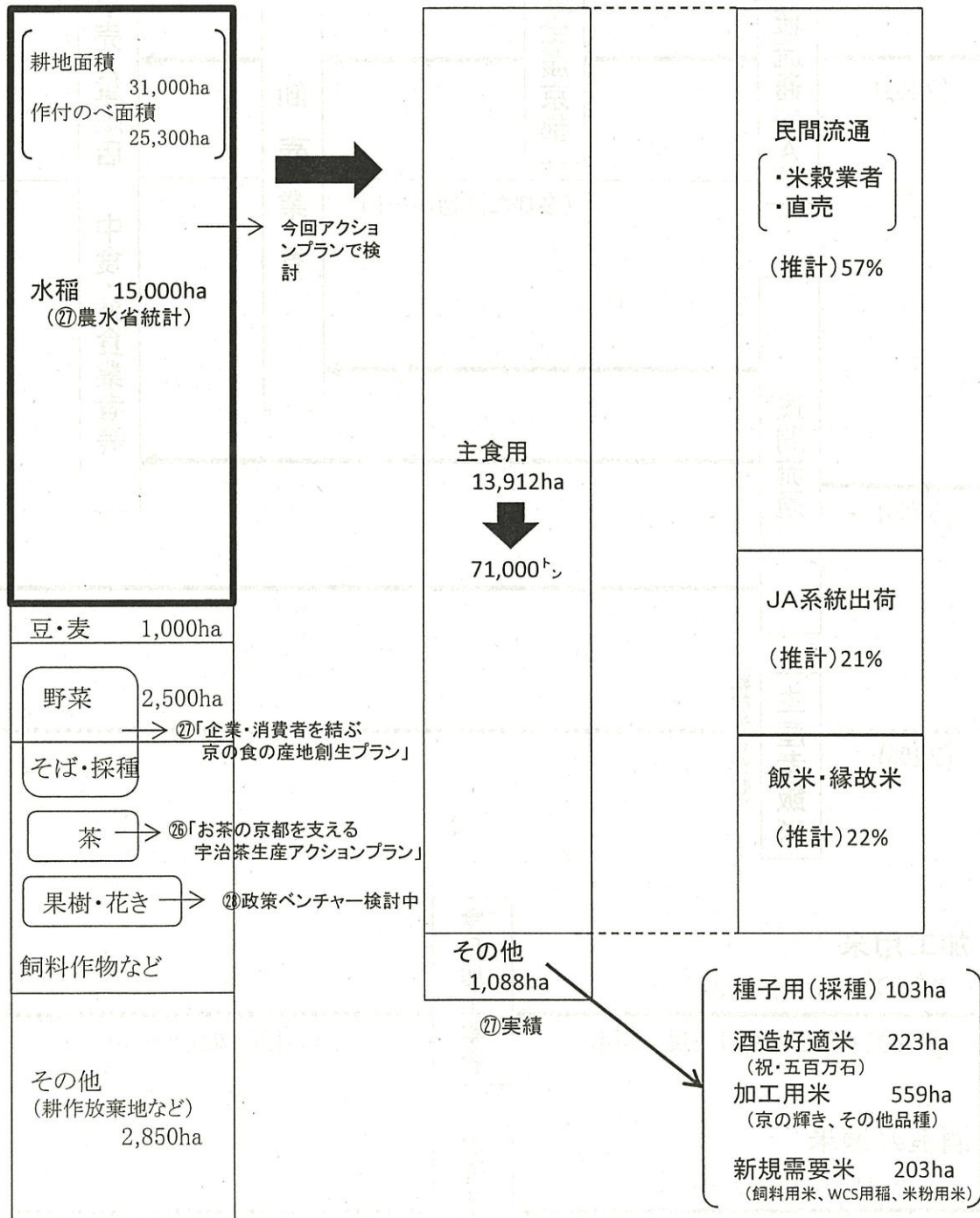
| 品種 | 出穂期 (月、日) | 成熟期 (月、日) | 稈長 (cm) | 穂長 (cm) | 穂数 (本/m ²) | 収量 (kg/a) | 同左 収量比 | 千粒重 (g) | 整粒率 (%) | 食味 推定値 (SHON値) |
|--------|--------------|--------------|------------|------------|---------------------------|--------------|-----------|------------|------------|----------------------|
| つや姫 | 8.03 | 9.05 | 77.3 | 18.9 | 333 | 58.6 | 102 | 22.0 | 72.3 | 79.9 |
| 西南136号 | 8.10 | 9.20 | 82.5 | 19.6 | 414 | 68.8 | 120 | 23.6 | 71.6 | 86.6 |
| コシヒカリ | 8.03 | 9.05 | 87.1 | 19.8 | 315 | 57.4 | (100) | 22.4 | 70.2 | 77.5 |
| きぬむすめ | 8.14 | 9.25 | 82.3 | 19.4 | 354 | 61.6 | 119 | 22.6 | 71.4 | 81.3 |
| キヌヒカリ | 8.01 | 9.05 | 79.1 | 18.5 | 297 | 51.9 | (100) | 22.3 | 65.6 | 69.8 |
| にこまる | 8.22 | 10.07 | 88.7 | 20.4 | 294 | 58.2 | 109 | 23.8 | 80.4 | 83.8 |
| ヒノヒカリ | 8.19 | 10.04 | 83.5 | 19.8 | 327 | 53.2 | (100) | 22.3 | 80.0 | 75.9 |

京都府農林水産技術センター（亀岡市余部町）における平成24～26年の平均値。
整粒率はサタケ穀粒判別器RGQ120Aにより測定。食味推定値はニレコ近赤外線分析器NIRS6500により測定。

京都府の水田利用状況と水稲の用途別内訳

京都府の水田の土地利用

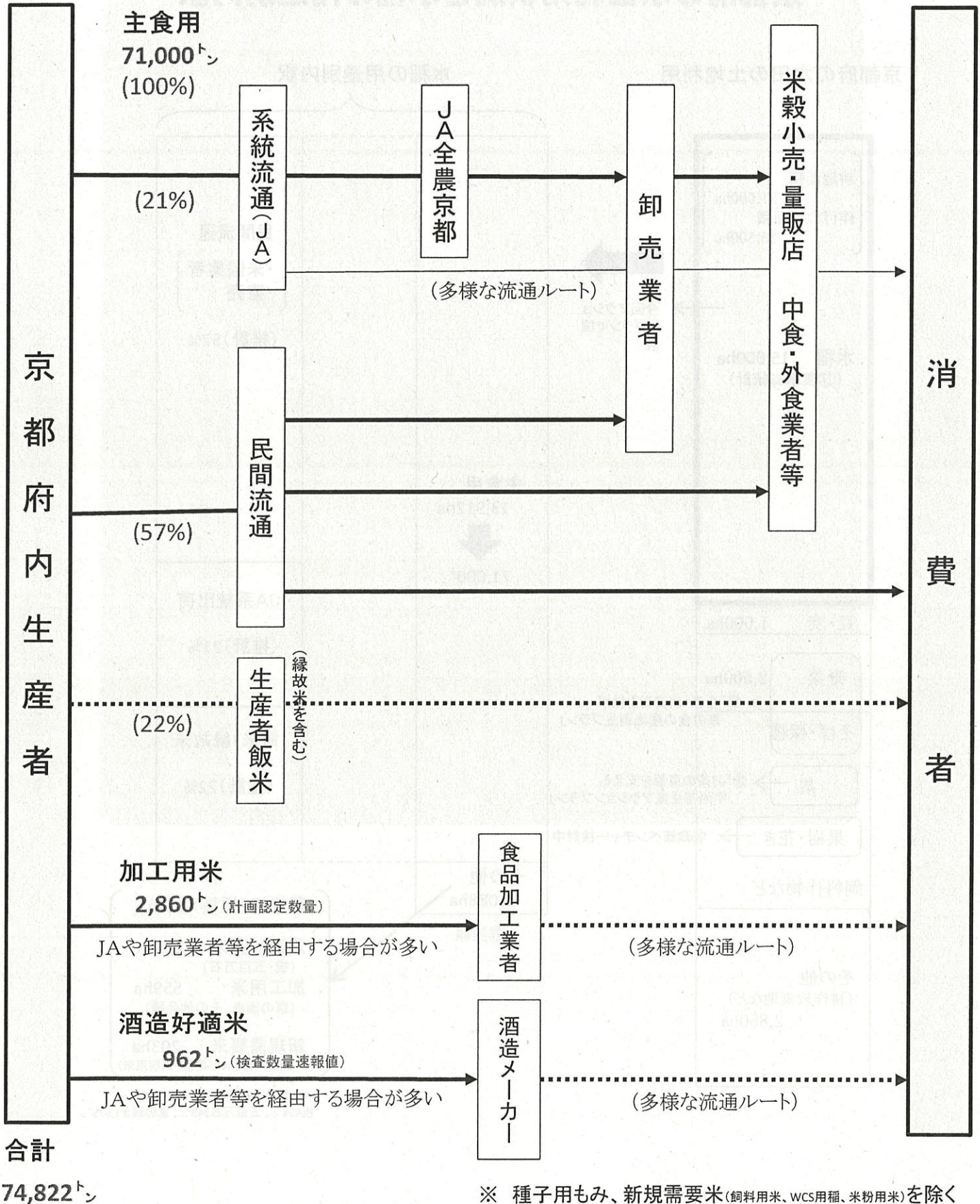
水稲の用途別内訳



《参考》㉓全農実績
 祝454㍏、五百万石348㍏、京の輝き1,675㍏

府内産のコメ流通と取扱量 (平成27年産)

※出典の記載が無い数値は京都府農産課推定値



※ 種子用もみ、新規需要米(飼料用米、WCS用稲、米粉用米)を除く

京都府における主食用米のJA取扱率の変化

《平成17年産》

《平成27年産》

